

第56回全日本聾教育研究大会
(愛知大会)
開催要項



全日本聾教育研究会

東海地区聾教育研究会

全日本聾教育研究大会(愛知大会)実行委員会

2022年10月6日(木)~7日(金)

愛知大会の開催方法について

全日本聾教育研究会会員の皆様には、平素から聴覚障害教育の充実と発展のために御尽力いただき、心より感謝申し上げます。2019年から世界的に大流行している新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、新たな変異ウイルスの広がりにより、長期化して未だに先が見えない状況です。

そのような中でも全日本聾教育研究大会は、埼玉大会、島根大会とWeb開催により、苦境に負けない大成功をおさめてきました。2022年10月に開催予定の愛知大会は、この2大会の成果を継承して大会運営に臨む所存です。加えて昭和42年の第1回大会を愛知県で開催した歴史もあり、この愛知大会から原点回帰して全国の先生方が対面して日頃の実践研究を協議することで、更なる高みに向かって進んでいく大会にしたいと願っています。

さて、愛知大会の開催方法ですが、本研究会の根本理念である授業研究に大会開催の柱を置いて運営することを確認した上で、皆様に参集していただく大会運営を基本方針とします。ただし、今後の感染状況により、当日の授業の参観が不可能となる場合があります。そこで埼玉大会、島根大会を参考にし、愛知大会の指定授業を7月までに収録して、9月の一定期間内に参加される先生方に大会ホームページから指導案も併せて視聴していただくことにしました。このようにしてこれまでの研究成果である指定授業は、必ず御覧いただける体制を整えます。

また、感染状況がさらに深刻化することも想定し、その際にはWeb会議システムを併用して授業研究分科会の協議と助言の先生方の御助言をリアルタイムで視聴できる準備も進めております。記念講演は、大会終了後に希望する学校がホームページから視聴できるように収録する予定です。

以上のように愛知大会は、東海地区7校の聾学校が心をつなげて、大会主題のとおり聴覚障害教育の継承とさらなる発展を目指して、全国の先生方と互いに研鑽できるように研究を進めて大会運営をいたします。どうぞ御理解と御協力をお願い申し上げます。

愛知大会実行委員長
愛知県立豊橋聾学校長 栗名 廉

本要項では、web 会議システムについて、次のように用語を定義しています。

<用語の定義>

「ライブ配信」

web 会議システムを使い、リアルタイムで視聴する。またはやりとりを行うこと。

「オンデマンド配信」

大会ホームページ上から事前もしくは事後に視聴すること。

第56回全日本聾教育研究大会(愛知大会) 開催要項

- 1 大会名称 第56回全日本聾教育研究大会(愛知大会)
- 2 大会主題 「聴覚障害教育の専門性の継承とさらなる発展」
—主体的・対話的で深い学びの授業を目指して—

【主題設定の理由】

聴覚障害教育は、先人の培ってきた不易な教育を継承し、その専門性をもって障害の多様化や社会の変化に対応しながら子どもたちに向き合ってきた。そして、新学習指導要領で示された新しい学力観に基づく授業実践は、子どもたちへの主体的・対話的で深い学びの実現には質の高い不易な教育が重要であることを示した。

変化の激しい社会の中、子どもたちが自身で学び、他者と協働しながら生きていくには、自他の間こえやアイデンティティの相互理解と尊重がまず重要になる。そして、基礎的な言語力、学力を土台として、多様な相手に伝えたりイメージを膨らませたりするための幅広い言語力や思考力、自ら新しい知識を求める学びの姿勢、新たな価値をつくるため深く協議できるコミュニケーション力等を身に付けておく必要がある。これらの力を培う教育を質の高い不易な教育と位置付け、日々の指導に根付かせていきたいと考える。また、多岐にわたり拡大する情報量や、日々進化するコミュニケーションに役立つ機器に対し、それらを上手に活用し、想像と創造のできる人間としての力を培っていくことも大切になると考える。

本研究では、聴覚障害教育の専門性の継承とさらなる発展のため、生涯にわたって能動的に学び続ける力を付ける教育を目指し、子どもたち自身でつくり深める学びの形と、その学びの実現に必須である質の高い不易な教育とを両立させた授業を追求したい。また少人数化傾向にある聾学校の状況に対する工夫、進化するICTやメディアの積極的活用等、現代の課題や進化に即した授業づくりや、子どもたちが切れ目なく学びに向かうことのできる教育の実現も追求したい。

子どもたちの豊かな人生は、質の高い聴覚障害教育の積み重ねと、自己や他者と共に学びを深める豊富な経験の先に成し得るのではないかと考え、本主題を設定した。

3 会期

令和4年10月6日(木)・7日(金)

4 主催

全日本聾教育研究会 東海地区聾教育研究会

5 主管校

愛知県立豊橋聾学校

6 協力校

愛知県立名古屋聾学校 愛知県立千種聾学校 愛知県立岡崎聾学校 愛知県立一宮聾学校
岐阜県立岐阜聾学校 三重県立聾学校

7 後援(予定)

文部科学省 愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会 全国聾学校長会 全国聾学校教頭会
全国特別支援学校長会 東海地区聾学校長会 東海地区聾学校教頭会
愛知県特別支援学校長会 全国ろう学校 PTA 連合会
全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会 一般社団法人愛知県聴覚障害者協会

8 協賛(予定)

公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会 小川再治研究協賛会
公益財団法人日本教育公務員弘済会 公益財団法人愛知県教育振興会

9 記念講演

講師 岐阜聖徳学園大学 教授 玉置 崇 氏
演題 「令和の日本型学校教育を実現するために」

10 大会内容

(1)大会事前日程

指定授業 【動画:オンデマンド配信】【指導案:大会ホームページより閲覧】
千種聾学校(幼稚部、小学部) 一宮聾学校(小学部、中学部)
名古屋聾学校(高等部本科、高等部専攻科)

	期 間	配信/事前質問送付先
配信期間 指導案掲載期間	令和4年9月5日(月)から10月3日(月)まで	※今後お知らせします。
事前質問受付	令和4年9月5日(月)から9月20日(火)まで	

(2)大会当日日程

月 日	時 間	日 程		
大会前日 10/5(水)	未定	大会運営委員会(前日打合せ) 全日本聾教育研究会全理事協議会 授業研究会打合せ(助言者・司会者・記録者)		
第1日目 10/6(木)		千種聾学校	一宮聾学校	名古屋聾学校
	10:00~	受付	受付	受付
	2時間目 10:20~	公開授業 (幼・小)	公開授業 (幼・小・中・高) 寄宿舎公開	公開授業 (中・高本科・高専攻科) 寄宿舎公開
	11:15~13:15	移動・休憩・昼食(午後の受付:ウインクあいち) ※移動は公共交通機関利用 ※昼食は各自		
	13:15~14:45	授業研究分科会(会場:ウインクあいち) (幼・小Ⅰ・小Ⅱ・中・高本・高専)		
	15:00~15:30	開会式		
	15:40~17:00	記念講演【後日全日聾研ホームページ掲載】		
	17:00~17:30	研究協議分科会打合せ		

第2日目 10/7(金)	9:00~	受付 (場所:ウインクあいち)
	9:30~12:00	研究協議分科会
	12:00~13:00	昼食・休憩
	13:00~16:00	研究協議分科会
	16:00~	閉会行事

(3)大会事後日程

	方法	期間
記念講演	【後日全日聾研ホームページの会員ページに掲載】	※今後お知らせします。

(4)その他

※全国聾学校長会 (ウインクあいち)

10/6(木) 17:30~ 開会式・全体会 10/7(金) 9:30~ 研究協議・講話・閉会式

※家庭教育を考える部会 2022年 (ウインクあいち)

10/7(金) 13:30~ 開会式・協議会 10/8(土) 9:30~ 講演・閉会式

II 設定分科会

(1)授業研究分科会

【公開授業・指定授業】会場:千種聾学校、一宮聾学校、名古屋聾学校

学校名	公開授業	指定授業【事前オンデマンド配信】
愛知県立千種聾学校	幼、小	幼、小
愛知県立一宮聾学校	幼、小、中、高	小、中
愛知県立名古屋聾学校	中、高本科、高専攻科	高本科、高専攻科

※寄宿舎の施設公開…愛知県立一宮聾学校、愛知県立名古屋聾学校

【授業研究分科会テーマ、助言者】会場:ウインクあいち

学校名	分科会	分科会テーマ	助言者
1 愛知県立 千種聾学校	幼稚部	豊かな言語活動を目指した教材 づくりとその活用について	信州大学 教授 庄司 和史 氏
	小学部 I	論理的思考を高める授業づくり	愛知教育大学 教授 岩田 吉生 氏
3 愛知県立 一宮聾学校	小学部 II	考えたことを伝え合い、学びを深 める授業	元愛知県立名古屋聾学校長 大胡田 昭二 氏
	中学部	考えを多面的に深め合う授業	岐阜大学 助教 鈴木 祥隆 氏
5 愛知県立 名古屋 聾学校	高等部 本科	思考力を育てる授業づくり	筑波技術大学 教授 長南 浩人 氏
6	高等部 専攻科	思考力やプレゼンテーション能力 の向上を図る授業づくり	帝京平成大学 教授 藤本 裕人 氏

参観人数により、参加分科会の希望に添えない場合があります。予めご了承ください。

(2)研究協議分科会 会場:ウインクあいち

分科会/会場		協議主題(分科会テーマ)	助言者
		主題設定の理由	運営担当校
1	早期教育Ⅰ (乳幼児)	乳幼児の豊かな発達を支える保護者や関係機関との協働による早期支援の在り方を考える。	愛知淑徳大学 教授 井脇 貴子 氏
		難聴児の早期発見・支援プランが策定され、難聴児への療育の充実が今まで以上に求められている。保護者や関係機関と協働し、一人一人の聞こえや発達等を踏まえた、きめ細かく効果的な支援の在り方について研究する。	岐阜県立 岐阜聾学校
2	早期教育Ⅱ (幼稚園)	遊びや生活の中で、他者と関わりながら生涯にわたる学びの姿勢の基となる言語力や生きる力を育む指導・支援について考える。	信州大学 教授 庄司 和史 氏
		身近な大人や友達と関わり合いながら遊んだり生活したりすることを通し、幼児は社会生活の基礎となる力を身に付けていく。体験から得られる幼児自身の気付きや新たな発見、共感を基にし、友達や先生に伝えたい気持ちの芽生えを大切にしたい。その上で、言葉や考える力につなげていくことのできる環境の設定や指導・支援の在り方について研究する。	愛知県立 豊橋聾学校
3	教科教育Ⅰ (小学部)	他者と協働しながら、生涯にわたる学びの姿勢の基礎となる学力や言語力と生きる力を育むための授業の在り方について考える。	愛知教育大学 教授 岩田 吉生 氏
		小学部段階では、基礎的な学力、言語力の定着や育成をベースとした、児童が自分で学びに向かったり他者と学び合ったりする中で自分の考えを広げたり深めたりできる授業の工夫が求められる。児童が自分の考えをもち、他者の話を理解するための学力や言語力の育成を目指す授業の工夫と、教える場面と共に学び合う場面の設定等の教師の役割の工夫が両立した授業の在り方について研究する。	三重県立 聾学校
4	教科教育Ⅱ (中学部)	他者と協働しながら、生涯にわたる学びの姿勢を高め、生きる力を支える確かな学力や言語力を育むための授業の在り方について考える。	東北福祉大学 教授 大西 孝志 氏
		中学部段階では、発展的、抽象的な学習に向かうため、読解力や思考力の育成をベースとした、学びの進め方の選択、他者と協働した学びができる授業の工夫が求められる。生徒がより深い知識を主体的に得るための授業の工夫と、生徒が他者や様々な情報に向き合いながら自分の言葉で考えをまとめ発信できる工夫が両立した授業の在り方について研究する。	愛知県立 岡崎聾学校

5	教科教育Ⅲ (高等部)	他者と協働しながら、生涯にわたる学びの姿勢を高め、社会の変化に対応できる学力や言語力と、自ら学び続ける力を育むための授業の在り方について考える。	筑波技術大学 教授 長南 浩人 氏
		高等部段階では、実社会に適応できる力を身に付けるための学習も加わり、知識や学び方を生徒自身の力で発展させていく授業の工夫が求められる。生徒自身が自ら様々なメディアや他者から情報を収集し、それらを選択・協議の上で適切に活用できるようにするための授業の工夫と、生徒自身の力で目的に応じた学びを進められる工夫について検討し、高等部段階での充実した授業の在り方について研究する。	愛知県立 名古屋聾学校
6	自立活動Ⅰ 発語発音・ 聴覚活用	言葉で考え、他者と受信や発信のできる力を育むための発語発音指導、聴覚学習、言語力の育成の在り方について考える。	同志社大学 教授 中瀬 浩一 氏
		補聴技術、医療技術の進歩により個のニーズも多様化している。他者との協働や様々な情報の選択のためには、言語の受容と表出に関わる力の育成が必要となる。学習基盤となる確かな言語力と、多様な他者と受発信のできる幅の広い言語力を育成するための指導・支援の在り方について研究する。	愛知県立 千種聾学校
7	自立活動Ⅱ 障害認識・ コミュニケー ション	自他ともに尊重できる障害認識の支援と、広く他者と関わり、深く分かり合うためのコミュニケーション力の育成の在り方について考える。	岐阜大学 助教 鈴木 祥隆 氏
		将来の豊かな社会生活のためには、自己のアイデンティティの確立を基とした自己理解と他者のアイデンティティを尊重する他者理解が必要となる。また自らが主体的に生きていくためには、場面や機会に応じて自ら学びを求めようとする力も必要である。自己理解を基盤として、様々な他者と協議、協働するための適応力、対応力のあるコミュニケーション力を育成するための指導・支援の在り方について研究する。	岐阜県立 岐阜聾学校
8	重複障害 教育	社会で他者と主体的に関わり合いながら、自分らしく生きる力を育むための授業の在り方について考える。	愛知教育大学 准教授 大塚 とよみ氏
		知的障害等を併せ有する子どもたちにとって、他者と上手に関わり合いながら生きていく力は必要かつ大変重要な力である。そのために、個々の言語力、コミュニケーション力、特性、社会性などを踏まえた生涯にわたって活用できる力を育てたい。その力を子どもたち自身が主体的に活用できる指導・支援の在り方について研究する。	愛知県立 豊橋聾学校

9	寄宿舎教育	課題を主体的に見出し、他者との協働により課題解決しながら人々と共に豊かに生活する力を育むための指導・支援の在り方について考える。	元愛知教育大学教授 小田 侯朗 氏
		寄宿舎での生活は個々の自立性を高め、他者と共に生活することで社会性も身に付けることができる。将来人として豊かに生活するためには、自身の生活課題や地域社会や身近な社会における課題に気付き、他者と課題を共有して解決に向け協働できる力が必要となる。寄宿舎生活の中で舎生自らが課題を見出し、仲間と協議、協働してよりよく生活できる力を育むことのできる指導・支援の在り方について研究する。	愛知県立 岡崎聾学校
10	キャリア教育	充実した社会的自立や自己実現を目指し、自己理解・障害認識を踏まえた指導・支援について考える。	帝京平成大学教授 藤本 裕人 氏
		多様化する社会の中で、自己の役割や存在意識を肯定しながら主体的に生きていくためには、自己有用感を高め自己理解や障害認識を進めることが大切である。社会的自立や自己表現につながるコミュニケーションの力、人間関係を確立する力を育てていくために、発達段階を踏まえた指導・支援の在り方について研究する。	愛知県立 一宮聾学校
11	地域連携・センター的機能	地域との連携の充実を目指した聾学校としての取組や役割について考える。	愛知県教育委員会 特別支援教育課 指導主事 児玉 隆則 氏
		人工内耳装用者の増加、補聴機器技術の進歩、地域での学びの広がりにより、聴覚障害教育の専門性の普及、浸透が急務となっている。聴覚障害のある全ての子どもたちがより適切な指導・支援を得るためには、聾学校が専門的な教育機関としてこれまで以上に地域との連携を強化し、地域のセンター的な役割を果たす必要がある。地域に暮らす聴覚障害のある子どもたちの専門的な教育の実施に向けて、地域や関係機関と協働した指導・支援の在り方について研究する。	三重県立聾学校

12 開会式次第(予定)

(1)開会の辞

(2)挨拶

全日本聾教育研究会会長

愛知大会実行委員長(愛知県立豊橋聾学校長)

(3)来賓挨拶

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官

愛知県教育委員会教育長

全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会会長

公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会会長

(4)来賓紹介

(5)閉会の辞

(6)諸連絡

13 閉会行事(予定)

各研究協議分科会会場にて実施

(1)開会の辞

(2)挨拶

全日本聾教育研究会会長

愛知大会実行委員長(愛知県立豊橋聾学校長)

全日本聾教育研究会副会長(次年度開催校主管校 校長)

(3)閉式の辞

14 情報保障について

全体会(開会式、記念講演)では、手話通訳、音声認識の文字変換による字幕を準備いたします。授業研究分科会、研究協議分科会においては、必要とする参加者がいる場合に情報保障を行いますので、情報保障を希望される場合は、その旨を「大会申込書」に御記入ください。

15 大会参加費

参加者費用

会員 無料

会員外 1,000 円 学生 1,000 円(参観のみ)

※会員外及び学生の方は、事前のオンデマンド配信による指定授業動画の視聴はできません。

当日は、1 日目の開会式からの参加となります。

16 研究発表

研究協議分科会の研究発表の資格は会員であることとします。

なお、地区研究会に所属していない大学教員等は、本部事務局が対応、掌握の上、会員の資格を得てください。

連絡先	全日本聾教育研究会本部事務局 〒272-8560 千葉県市川市国府台 2-2-1 筑波大学附属聴覚特別支援学校内 Tel 047-371-4135(代) fax 047-372-6908
-----	--

発表数が多い研究協議分科会においては、発表時間を十分に設定できない場合があります。予め御了承ください。

17 大会参加、宿泊等の申込について

申込内容	受付期間	申込・送付先
大会予備調査	2022年3月実施予定	愛知大会事務局 (愛知県立豊橋聾学校内) ※専用のwebフォームから仮申込みをしてください。
大会参加申込み 研究発表申込	2022年5月24日(火)から 6月2日(木)まで	愛知大会事務局 (愛知県立豊橋聾学校内) ※専用のwebフォームから申込みをしてください。
研究発表原稿提出	2022年7月5日(火)から 7月21日(木)まで	愛知大会事務局 (愛知県立豊橋聾学校内) ※専用のwebフォームから申込みをしてください。
宿泊・昼食等の申込み	宿泊、昼食の手続きについては、参加者自身で行ってください。 御協力お願いいたします。	

18 業者による機器展示について

実施予定

19 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための開催方法の対応について

(1) 愛知大会の開催方法について

愛知大会は、コロナ禍の変則的な大会から通常大会に戻す過程の大会となります。そのため、感染症拡大防止に配慮した上での通常開催(参集開催)としますが、授業研究会の確実な実施のため、指定授業参観については事前のオンデマンド配信とします。

また、大会前の感染症の状況により、愛知県に移動できない参加者が生じた場合は、その対応として授業研究分科会をライブ配信(一方向)とします。さらに、全ての参加者が愛知県に参集することができなくなった場合については、開催方法をweb会議システムに変更します。今後の対応については、ホームページ上や大会通信などでお知らせします。

(2)オンライン参加の概要

内 容	一部参集できない場合【web 対応】	全員参集できない場合【完全 web】
公開授業	・公開授業は実施しますが、教室内に入室できない状況の場合、廊下からの参観とします。 ・公開授業の web 配信はありません。	・公開授業は実施しません。 ・公開授業の web 配信はありません。
寄宿舍公開	・寄宿舍公開は実施しますが、状況により、人数制限等を行います。 ・寄宿舍公開の web 配信はありません。	・寄宿舍公開は実施しません。 ・寄宿舍公開の web 配信はありません。
授業研究分科会	・ウインクあいちで実施します。 ・web で、分科会の様子を視聴できます。	・各授業研究校で実施します。 ・web で、分科会の様子を視聴できます。
開会式 閉会式	・ウインクあいちで実施しますが、式の web 配信はありません。大会ホームページ上に、挨拶等を掲載します。	・式は開催しません。 ・大会ホームページ上に、挨拶等を掲載します。
記念講演	・ウインクあいちで実施します。 ・後日、全日聾研ホームページに掲載します。	・愛知県内の聾学校で実施します。 ・後日、全日聾研ホームページに掲載します。
研究協議分科会	・ウインクあいちで実施します。 ・発表者の方が参集できない場合はホームページ上での書面掲載とします。	・発表はすべてホームページ上での書面掲載とします。

(3)大会当日日程

① 参集できない参加者が生じた場合 【 】内は、web での対応方法です。

月 日	時 間	日 程
第1日目 10/6(木)	13:15~14:45	授業研究分科会 会場:ウインクあいち【ライブ配信(一方向)】 (幼・小Ⅰ・小Ⅱ・中・高本・高専)
		開会式【事後 大会ホームページより閲覧】
		記念講演【後日 全日聾研ホームページ掲載】
第2日目 10/7(金)		研究協議分科会【事前・事後 大会ホームページより閲覧】
		閉会行事【事後 大会ホームページより閲覧】

② 全ての参加者が参集できない場合 【 】内は、web での対応方法です。

月 日	時 間	日 程		
第1日目 10/6 (木)	午後2時30分 ～ 午後4時	千種聾学校 授業研究分科会 幼稚部分科会 【ライブ配信(一方向)】	一宮聾学校 授業研究分科会 小学部Ⅱ分科会 【ライブ配信(一方向)】	名古屋聾学校 授業研究分科会 高等部本科分科会 【ライブ配信(一方向)】
		開会式【事後 大会ホームページより閲覧】		
		記念講演【後日 全日聾研ホームページ掲載】		
第2日目 10/7 (金)	午後2時30分 ～ 午後4時	千種聾学校 授業研究分科会 小学部Ⅰ分科会 【ライブ配信(一方向)】	一宮聾学校 授業研究分科会 中学部分科会 【ライブ配信(一方向)】	名古屋聾学校 授業研究分科会 高等部専攻科分科会 【ライブ配信(一方向)】
		研究協議分科会【事前・事後 大会ホームページより閲覧】		
		閉会行事【事後 大会ホームページより閲覧】		

③その他

当日、不測の事態(自然災害や大規模停電等)により、ウインクあいち周辺のインターネット環境に不備が生じた場合は、後日、助言内容を所属校を通して、参加者へメールにて送信します。

20 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止について

感染症対策は、今後も引き続き必要と思われます。そこで、以下のように御協力をお願いいたします。

- (1) 地域の感染症対策に沿って、移動の可否を判断してください。愛知県に緊急事態宣言等が出され、移動制限が出された場合は、完全 web 大会となります。
- (2) 各分科会会場の密を避けるため、会場の収容数を、感染レベル、県や会場の指示に応じた収容人数と制限する場合があります。その場合、参加者の方に御協力の依頼をすることがあります。
- (3) 会場には、飛沫防止透明ボード等を準備する予定ですが、発表をする参加者は、透明マスクなどの御準備をお願いいたします。
- (4) 分科会会場では消毒の設置、発言者の場所を決める等、感染予防対策を講じます。また、web 対応が生じた場合、分科会場に配信用の機器などが入ります。御理解、御協力をお願いいたします。
- (5) 基本的な感染症防止対策(体調確認、マスク着用、手指消毒等)の御協力をお願いいたします。

21 大会事務局及び連絡先

第56回全日本聾教育研究大会(愛知大会)事務局
〒441-8141 愛知県豊橋市草間町字平東100番地 (愛知県立豊橋聾学校)
Tel 0532-45-2049 Fax 0532-47-7545
<大会実行委員会>
実行委員長：校長 栗名 廉 大会事務局長：小学部主事 中野拓希子
全日本聾教育研究大会(愛知大会)事務局メールアドレス
zennichiro-aichi@toyohashi-sd.aichi-c.ed.jp